

WEBアンケート調査結果

子どもの将来と習い事 に関する調査

本調査レポートは、HERSTORY REVIEW 2024年10月10日発行の
3点セット(冊子・動画・WEBアンケート調査レポート)の
WEBアンケート調査レポートです。



HERSTORY
REVIEW

2024
Vol.88

11 月号

子どもの将来に不安という親8割
子ども未来消費



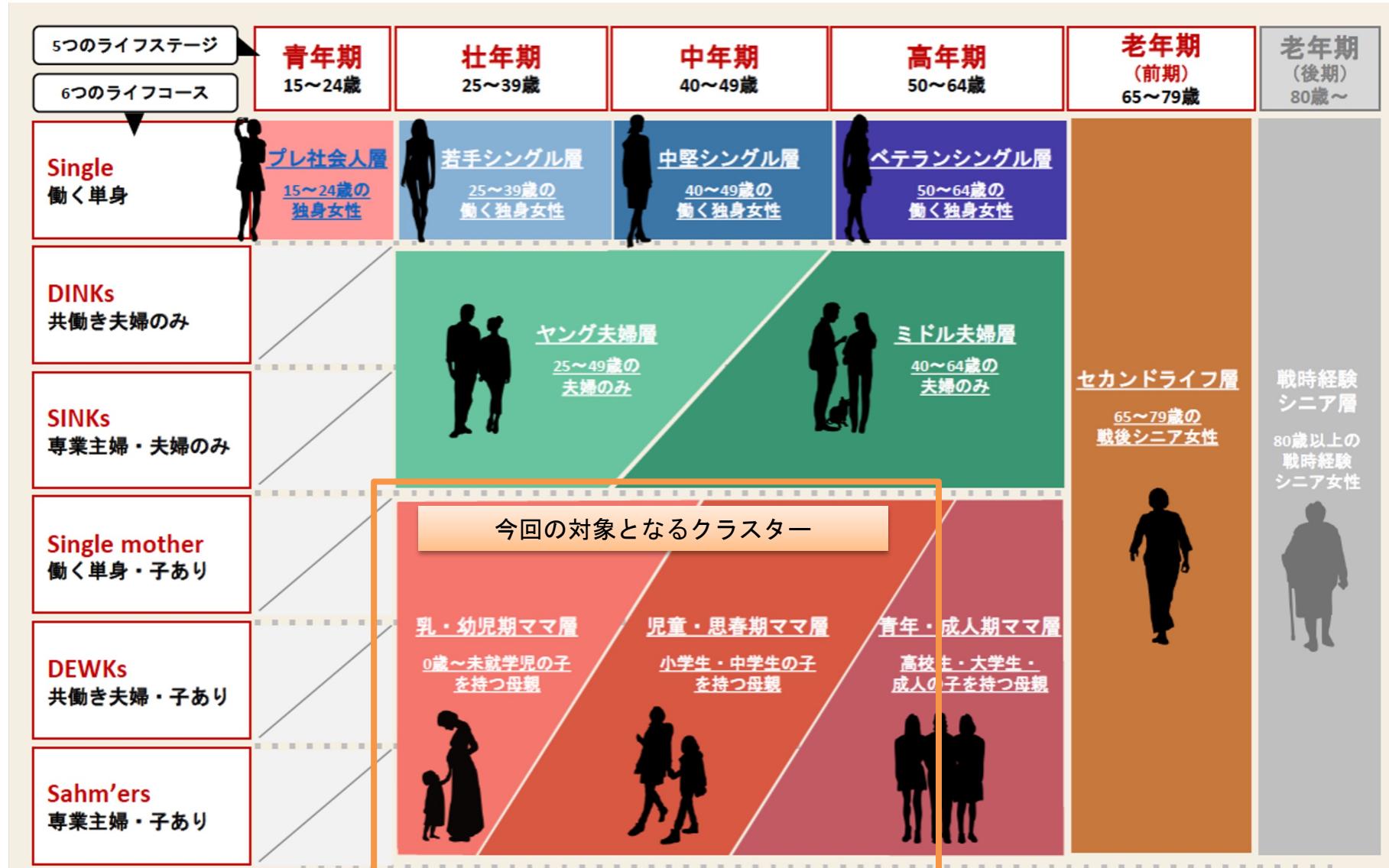
調査概要

調査背景・目的	<p>＜背景＞2020年以降、子供たちはリモート学習やリモートワークの増加により、従来の対面でのコミュニケーションの機会が減少し、社会的なつながりや対人スキルの育成に課題が生じています。そんな中、文部科学省が打ち出した「生きる力」という概念では、知識だけでなく、社会で主体的に生きるために総合的な能力の育成を目指しており、親たちの教育に対する意識も高まっています。</p> <p>＜目的＞本調査では、子どもの「生きる力」に関する現代の社会的要請や親の不安、将来の期待についてを明らかにし、今後のマーケティングやサービス開発における示唆として、多くのヒントを見出していただけることを目的としています。</p>
調査手法	WEBアンケート
対象者条件	<p>【性別】女性</p> <p>【対象】中学生までのお子様をお持ちの女性</p> <p>【年代】10代（1人）、20代（35人）、30代（108人）、40代（153人）、50代（25人）、60代以上（2人）</p> <p>【地域】日本全域</p>
回収数	324サンプル
調査期間	2024年8月30日（金）～2024年9月16日（火）
協力	一般社団法人 日本マーケティング・リテラシー協会

HERSTORYが重視する 女性クラスターの 設定定義

クラスターの定義

6つのライフコースと5つのライフステージを軸にマトリクス化し、特徴的な集合体を10クラスターに分類。

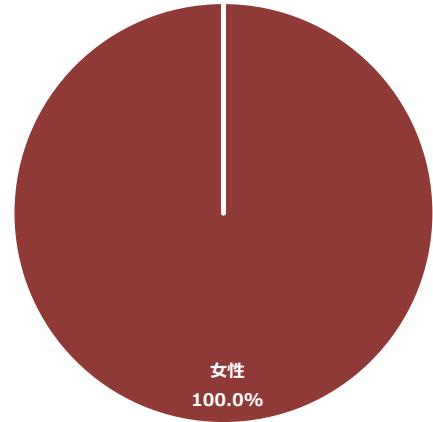


※女性ペルソナ年鑑「HERFACE」より一部流用

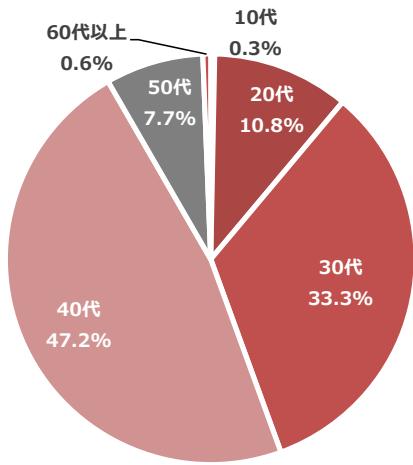
本調查 回答者属性

本調査回答者属性

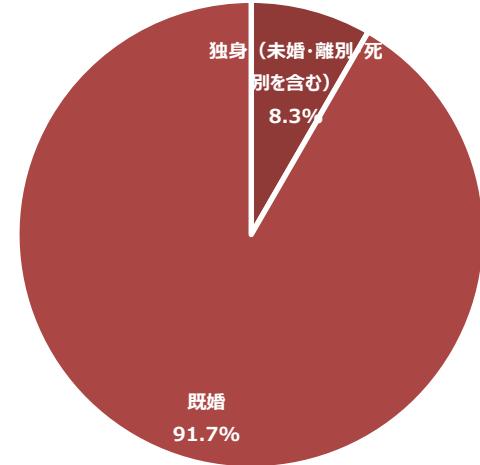
性別



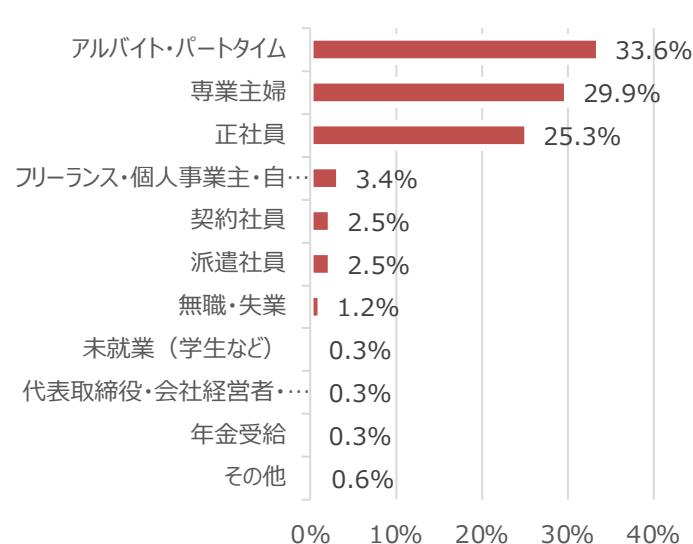
年代



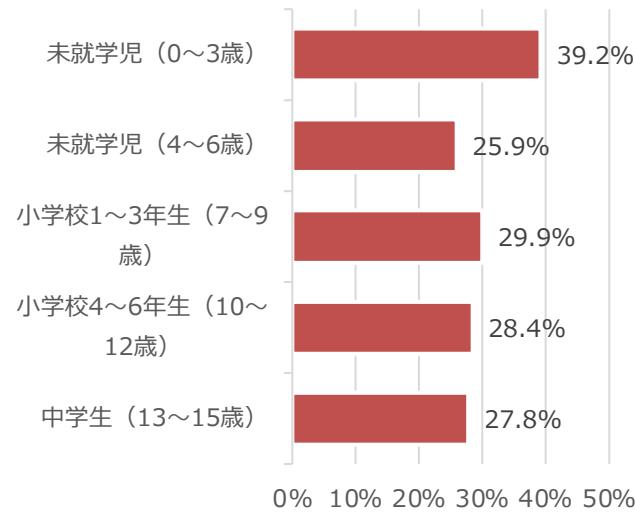
婚姻状況



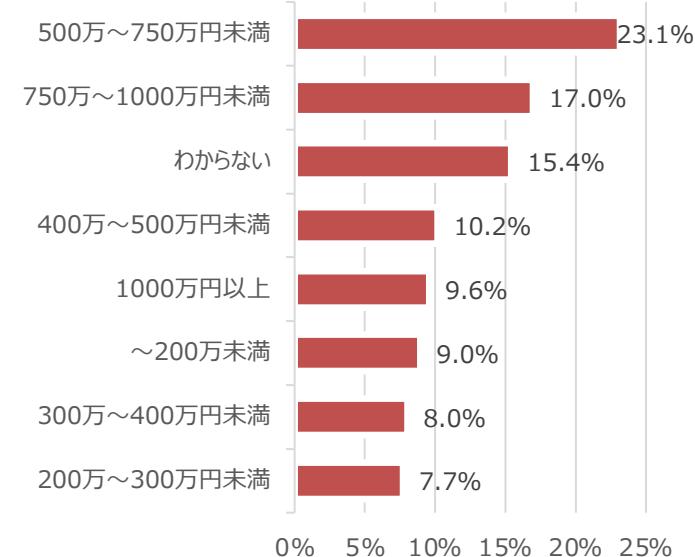
就労状況



同居するお子様



世帯年収



調査の主な質問項目

- Q.1 お子さまの「将来」について、不安を感じていますか。
- Q.2 お子さまに関する「現在の不安」について、あてはまるものすべてお選びください。
- Q.3 将来、お子さまにはどういった人になって欲しいと思いますか。「上位5つ」まで教えてください。
- Q.4 お子さまの「将来の不安」について、どういった不安を感じていますか。あてはまるものすべてお選びください。
- Q.5 現在お子さまに経験・体験させているものがありますか。または、経験・体験させていたものがありますか。
- Q.6 .現在お子さまに経験・体験させているもの（または、経験・体験させていたもの）としてあてはまるものすべてお選びください。
- Q.7 お子さまに経験・体験させているものは誰の意志で決めましたか。
- Q.8 経験・体験や習い事にかける時間は、「1週間あたり」平均どれくらいですか。
- Q.9 経験・体験や習い事にかける費用の総額は、「1ヶ月あたり」平均いくらくらいですか。
- Q.10 お子さまの習い事や体験などについて、あるとうれしい習い事や体験コンテンツなどがあれば教えてください。 (FA)
- Q.11 ご自身が「大人になって学んでおけばよかった・やっておけばよかった」と思うことはありますか。
- Q.12 具体的に、どういったものを「大人になって学んでおけばよかった・やっておけばよかった」と思いますか。当てはまるものを全て教えてください。
- Q.13 ご自身が「大人になって学んでおけばよかった」と思った具体的な経験を教えてください。 (FA)

キーワード

変化する社会で子どもたちに求められるスキルと親の不安

未来を切り拓く
“生きる力”



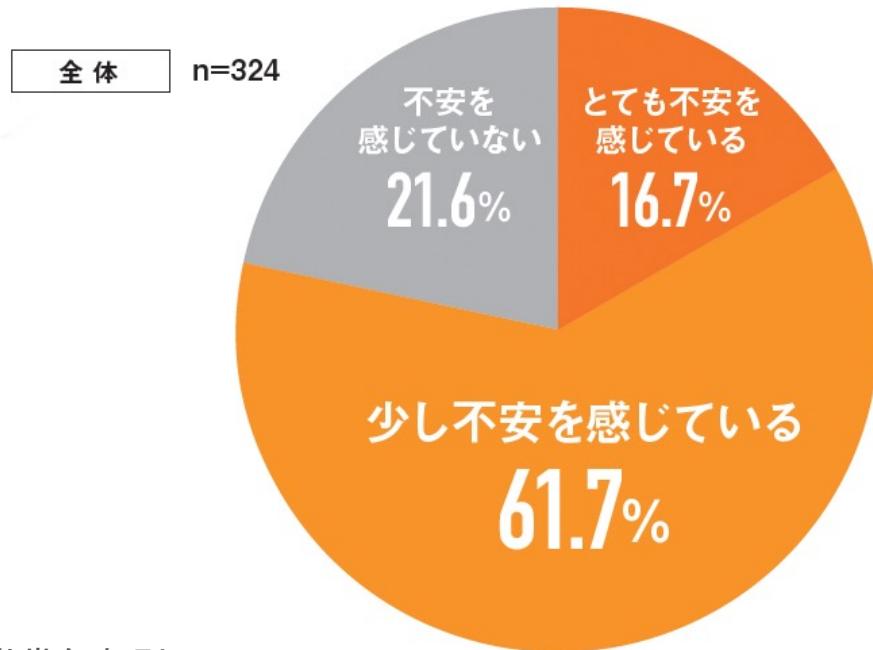
[HERSTORYREVIEW掲載]調査分析・解説

[ターゲットや年代ごとの詳細な内容のローデータはこちら](#)

Q.1 お子さまの「将来」について、不安を感じていますか。

POINT

- 経済的な余裕が将来への安心感を提供していることが推察される。



世帯年収別

	とても不安を感じている	少し不安を感じている	不安を感じていない
~200万未満	20.7	62.1	17.2
200万～300万円未満	12.0	68.0	20.0
300万～400万円未満	23.1	57.7	19.2
400万～500万円未満	21.2	60.6	18.2
500万～750万円未満	14.7	60.0	25.3
750万～1000万円未満	12.7	63.6	23.6
1000万円以上	9.7	64.5	25.8

施策の提案

- ・ **高所得層向け**：将来の成功をサポートするプログラム
例) 個別進路指導プログラム、留学サポートなど
- ・ **低所得層向け**：経済的な負担を軽減しながら、子供の将来に対する安心感を提供するようなサポート
例) 無料または低価格のオンライン学習ツール、放課後学習支援プログラムなど

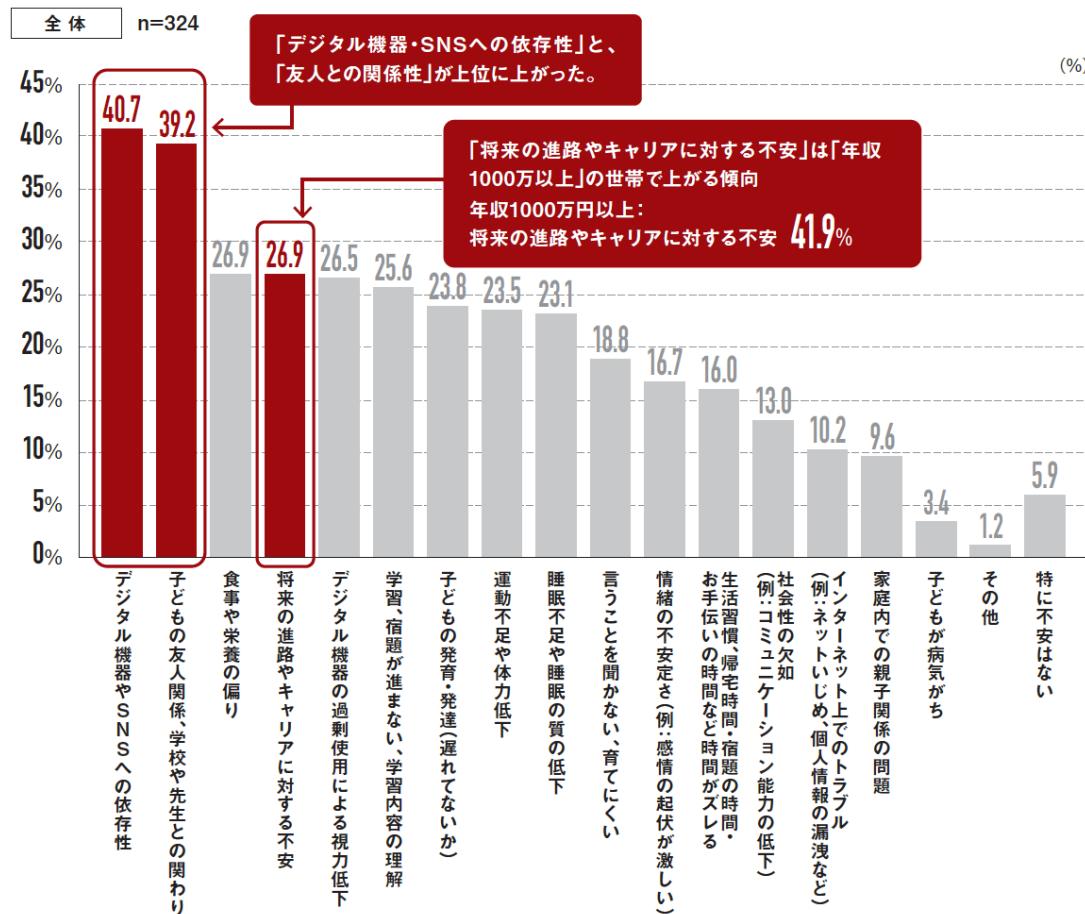
年収が高い世帯ほど「不安を感じていない」と回答する割合が増加している。

Q.2 お子さまに関する「現在の不安」について、あてはまるものすべてお選びください。

※中学生までのお子さまが複数人いらっしゃる場合は、それぞれのお子さまに当てはまるごとを全て教えてください。

POINT

- 背景として、コロナ禍によってリモート学習やリモートワークが普及したことで、対面での交流が大幅に減少したことが考えられる。特に子どもたちにとっては、学校や遊び場での対面コミュニケーションが貴重な人間関係構築の場であり、その機会が失われたことで、友人関係や教師との関係に影響を与える可能性がある。



施策の提案

高所得層向けに特化したキャリア支援プログラムや進路相談サービス、子供の成長に伴う教育投資をサポートする商品・サービスに対する需要が高まる可能性が示唆される。特に、高所得層の家庭は質の高い教育やキャリアサポートを求めており、パーソナライズされたサービスや高品質な教育リソース（質の高い教材や学習環境、サポート体制を整えたサービス）の提供が有効。

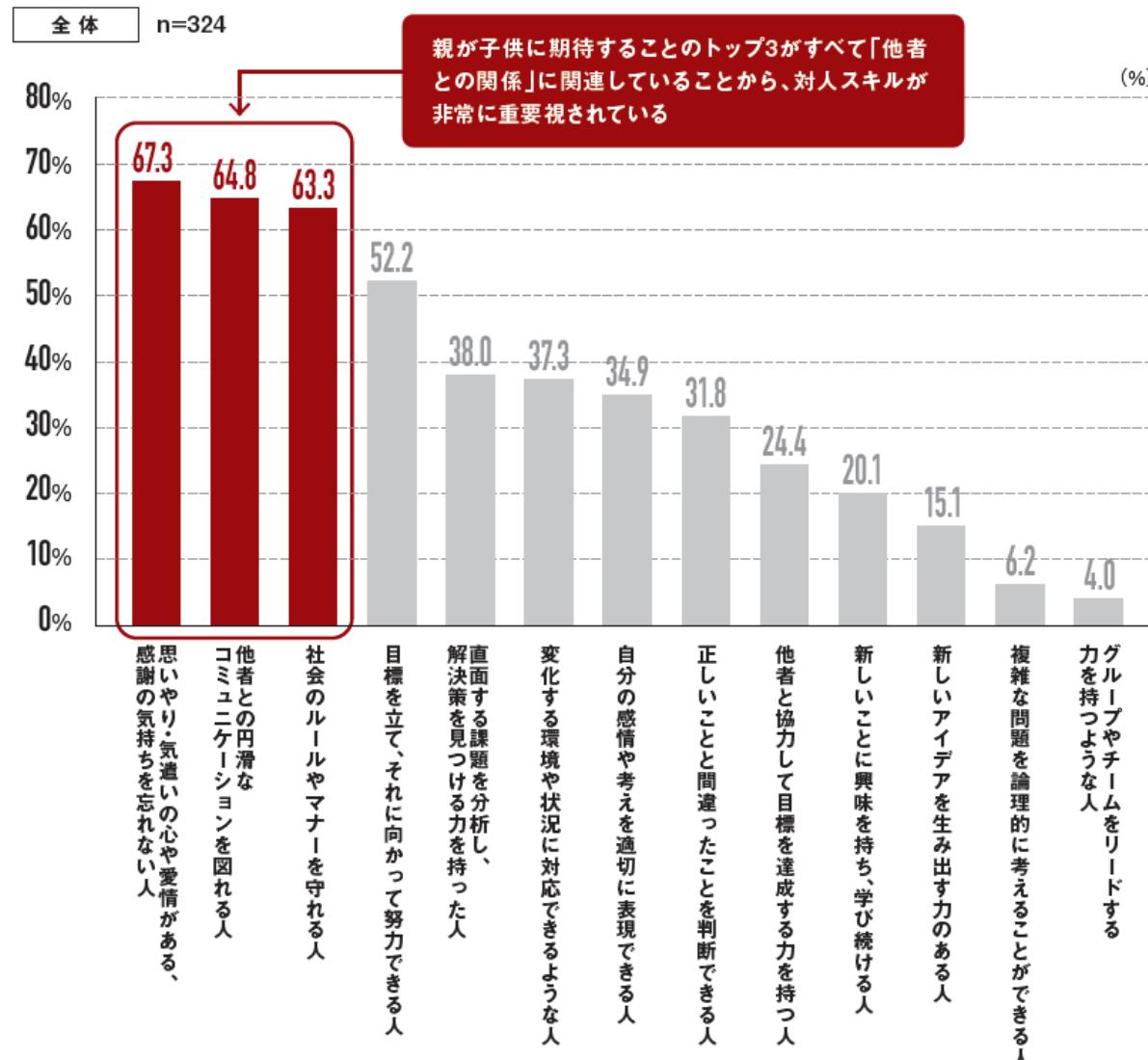
Q.2 お子さまに関する「現在の不安」について、あてはまるものすべてお選びください。

※中学生までのお子さまが複数人いらっしゃる場合は、それぞれのお子さまに当てはまるごとに全て教えてください。

		子どもデジタル機器の発育・発達（遅れていか）	子どもデジタル機器の友人関係、（遅れてないか）	子ども宿題が進まない、学校や先生との関わり	学習、宿題が慣れる時間・宿題の時間	生活習慣の問題	言うこき	子どもが病気にならないがち	インターネット上でトラブル（例：ネットいじめ）	食事や栄養の偏り	睡眠不足や睡眠の質の低下	運動不足や体力低下	情緒不安定（例：感情の起伏が激しい）	社会性不安（例：コミュニケーションの欠如）	将来の進路やア対応（例：キャリアに対する不安）	家庭内の親子関係の問題	デジタル機器による視力低下	特に不安はない
400万～500万円未満	(33)	36.4	36.4	45.5	27.3	12.1	12.1		△42.4	27.3	36.4	21.2	9.1	36.4	9.1	24.2	6.1	
500万～750万円未満	(75)	25.3	42.7	40.0	28.0	17.3	22.7	4.0	9.3	24.0	16.0	29.3	10.7	14.7	24.0	8.0	28.0	5.3
750万～1000万円未満	(55)	23.6	41.8	36.4	21.8	14.5	12.7	1.8	10.9	20.0	21.8	△12.7	14.5	12.7	25.5	7.3	18.2	5.5
1000万円以上	(31)	19.4	38.7	45.2	25.8	12.9	19.4		△25.8	22.6	16.1	16.1	9.7	22.6	△41.9	9.7	△45.2	3.2

Q.3 将来、お子さまにはどういった人になって欲しいと思いますか。「上位5つ」まで教えてください。

*中学生までのお子さまが複数人いらっしゃる場合も合計で5つ以内に絞ってお答えください。



施策の提案

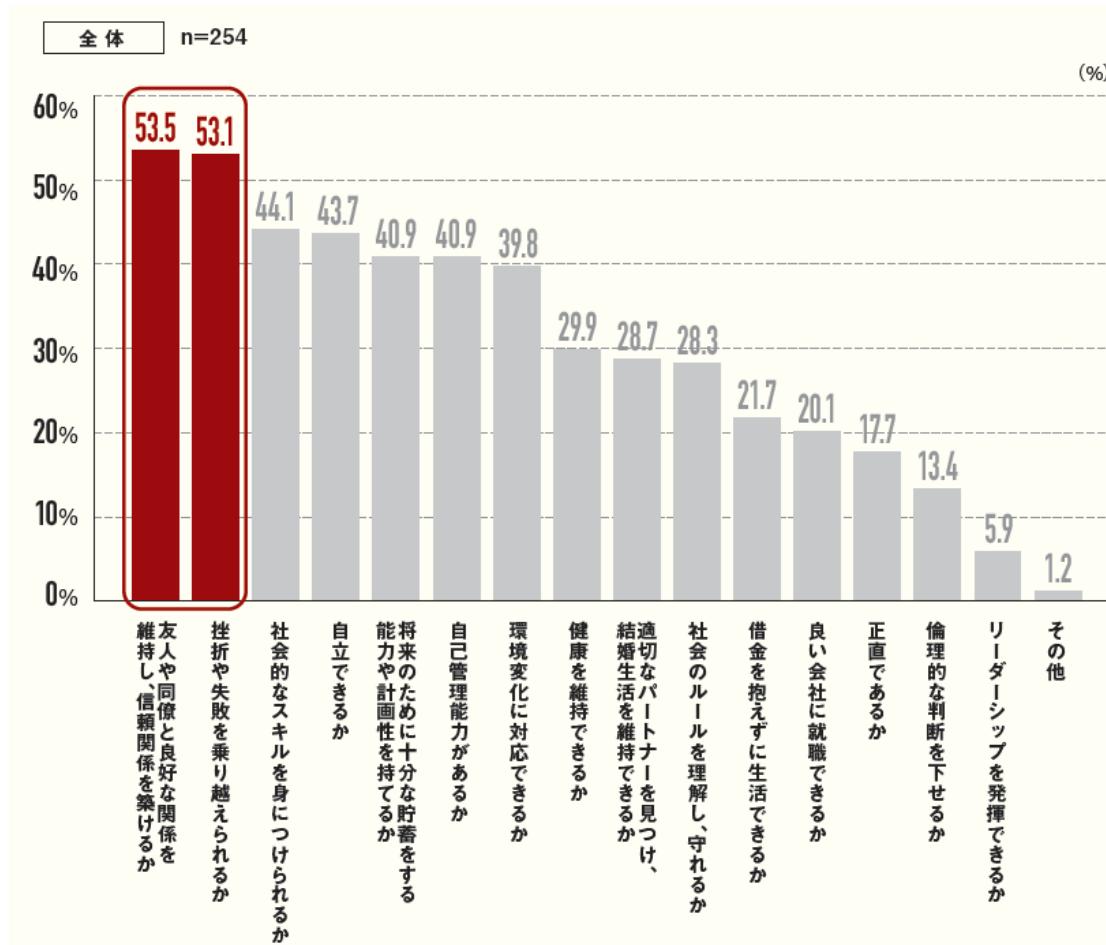
- 教育サービスの強化**：対人関係や感情管理、コミュニケーションスキルを育てるプログラムの需要が高い
例) SEL (ソーシャルエモーショナルラーニング)を取り入れたプログラムや、対人スキルを育成するアクティビティの提供・親向けサポート
- 創造性や革新性を引き出すサービスの提案**：現在、創造力や新しいアイデアを生み出すスキルはあまり重視されていないものの、未来の社会での競争力を高めるためには重要な要素
例) 上記を強調したワークショップやイベントを企画

Q.4 お子さまの「将来の不安」について、どういった不安を感じていますか。あてはまるものすべてお選びください。

※中学生までのお子さまが複数人いらっしゃる場合は、それぞれのお子さまに当てはまるごとを全て教えてください。

POINT

コロナ禍におけるオンライン授業や対面的なコミュニケーションの制約が、友人や同僚との良好な関係を維持し信頼関係を築くことへの不安に繋がっている可能性が高い。特に、対面での交流機会が減少したことによって、人間関係の構築が難しく感じられる状況が影響していると考えられる。

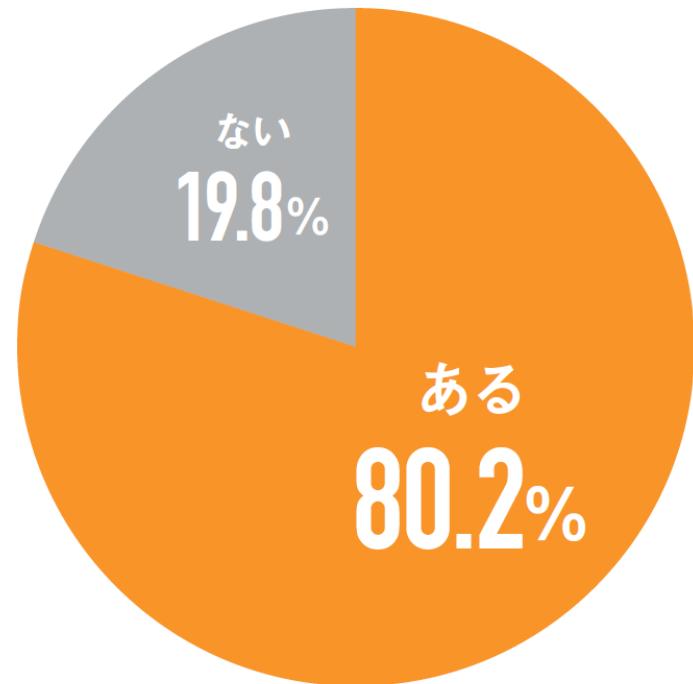


施策の提案

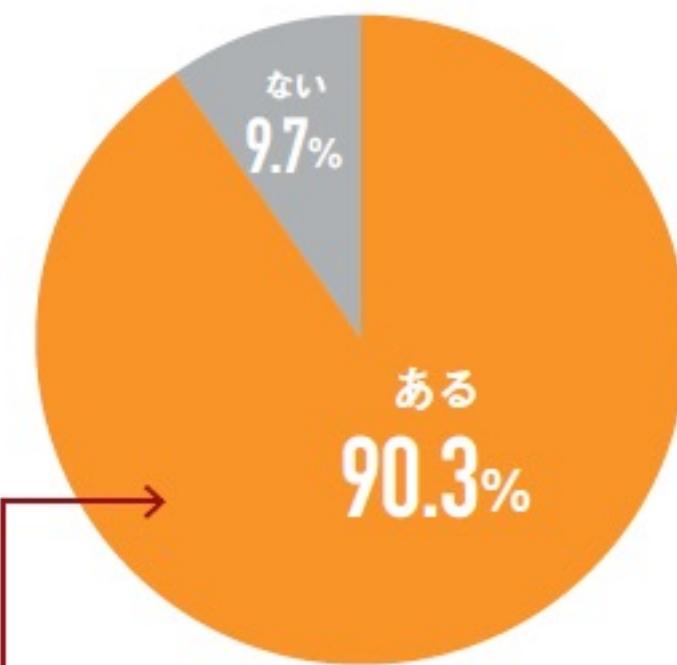
- メンタルヘルスとコミュニケーションスキルを育成するサービスの提供
例) ストレス管理や感情のコントロールを教えるアプリやオンラインカウンセリングサービスなど
- 教育分野におけるバランス型アプローチの提案

Q.5 現在お子さまに経験・体験させているものがありますか。または、経験・体験させていたものがありますか。

全体 n=324



年収が1000万円以上



年収1000万円以上の世帯では、「ある」と回答した割合が多かった。経験させたことの内容としては、学習的なことだけでなく、情緒的な内容(絵画・工作、ピアノ、習字など)も多い傾向があった

Q. 6 現在お子さまに経験・体験させているもの（または、経験・体験させていたもの）としてあてはまるものすべてお選びください。

中学生までのお子さまが複数人いらっしゃる場合は、それぞれのお子さまに当てはまるごとに全て教えてください。

POINT

- 年収や家庭背景に応じたサービス提供
- 学習関連サービスの強化：中学生頃から学習塾や受験勉強の習い事が増えることから、オンライン学習や家庭教師サービスなど、教育関連のサービスを強化することが有効
- 体を動かすアクティビティのプロモーション：親子で参加できる体験型イベントを開催でさらに需要の拡大も

1位 水泳・スイミング 34.9%

2位 英会話などの語学 27.2%

3位 ベビーマッサージ・ベビーヨガ・ベビーサイン 20.7%

4位 ピアノ・電子オルガン・楽器 19.8%

5位 学習塾、受験のための学習 18.5%

Q.6 現在お子さまに経験・体験させているもの（または、経験・体験させていたもの）としてあてはまるものすべてお選びください。

中学生までのお子さまが複数人いらっしゃる場合は、それぞれのお子さまに当てはまるごとに全て教えてください。

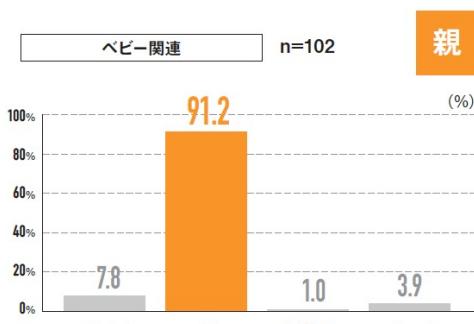
		ベビーサイン	ベビーマッサージ・ベビーヨガ・	幼児教室	リトミック	英会話などの語学	水泳・スイミング	学校の予習・復習	学習塾、受験のための学習	総合型キッズスポーツ	サッカー・フットサル	野球	武道（柔道・剣道・空手・合気道など）	ダンス	バレエ	体操	ピアノ・電子オルガン・楽器	習字	計算・漢字	そろばん	マネー・金融教育	パソコン	プログラミング	動画制作	絵画・工作	料理・お菓子作り	ルスカウト・ボイスカウト・ガード	自然体験・ボーカル・ダンス	十劇など	総合表現活動（英語十歌十ダンス）	職業体験	その他	している事はない	習い事や積極的に体験・経験させ
400万～500万円未満	(33)	21.2	15.2	18.2	21.2	24.2	12.1	18.2	3.0	3.0		9.1	6.1		9.1	18.2	6.1		9.1	3.0		3.0		6.1	12.1	3.0		12.1	6.1	30.3				
500万～750万円未満	(75)	△30.7	14.7	14.7	26.7	37.3	17.3	12.0	2.7	10.7	4.0	4.0	9.3	2.7	13.3	14.7	8.0	4.0	8.0	4.0		6.7	1.3	9.3	12.0	5.3		6.7	△1.3	13.3				
750万～1000万円未満	(55)	△30.9	△20.0	20.0	29.1	32.7	21.8	△30.9	5.5	16.4	1.8	5.5	14.5	1.8	△25.5	23.6	14.5	9.1	3.6	5.5	1.8	9.1	1.8	7.3	9.1	9.1		7.3	3.6	25.5				
1000万円以上	(31)	16.1	9.7	12.9	35.5	△54.8	29.0	29.0	3.2	6.5		3.2	9.7	△9.7	25.8	32.3	19.4	3.2		3.2		12.9	△19.4	22.6			9.7	6.5	9.7					

※年収軸はn数30以上を掲載

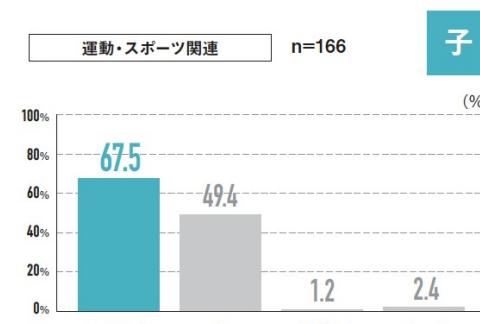
Q.7 お子さまに経験・体験させているものは誰の意志で決めましたか。

POINT

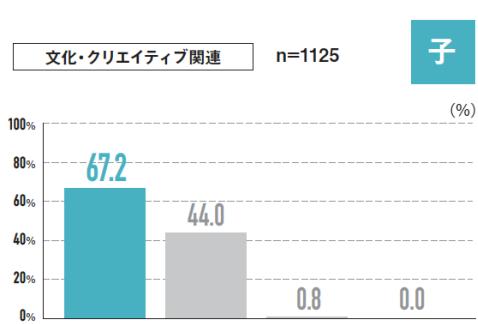
- 年収や家庭背景に応じたサービス提供
- 学習関連サービスの強化：中学生頃から学習塾や受験勉強の習い事が増えることから、オンライン学習や家庭教師サービスなど、教育関連のサービスを強化することが有効
- 体を動かすアクティビティのプロモーション：親子で参加できる体験型イベントを開催でさらに需要の拡大も



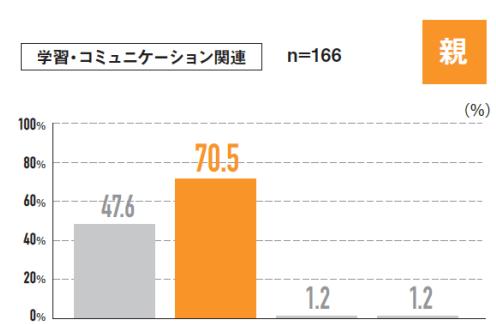
POINT! 親が主な意思決定者となるため、親のニーズに合わせた情報を提供し、安心感を与えることが重要



POINT! スポーツ体験会や運動会を開催し、子どもたちが楽しく継続的な運動習慣を提供。ゲーム感覚で楽しめるプログラムやチームワークを重視したものなど



POINT! 子どもの創造性を育み、自己表現の機会を提供する。親子で一緒に作品作りを楽しむ、ワークショップを開催、など



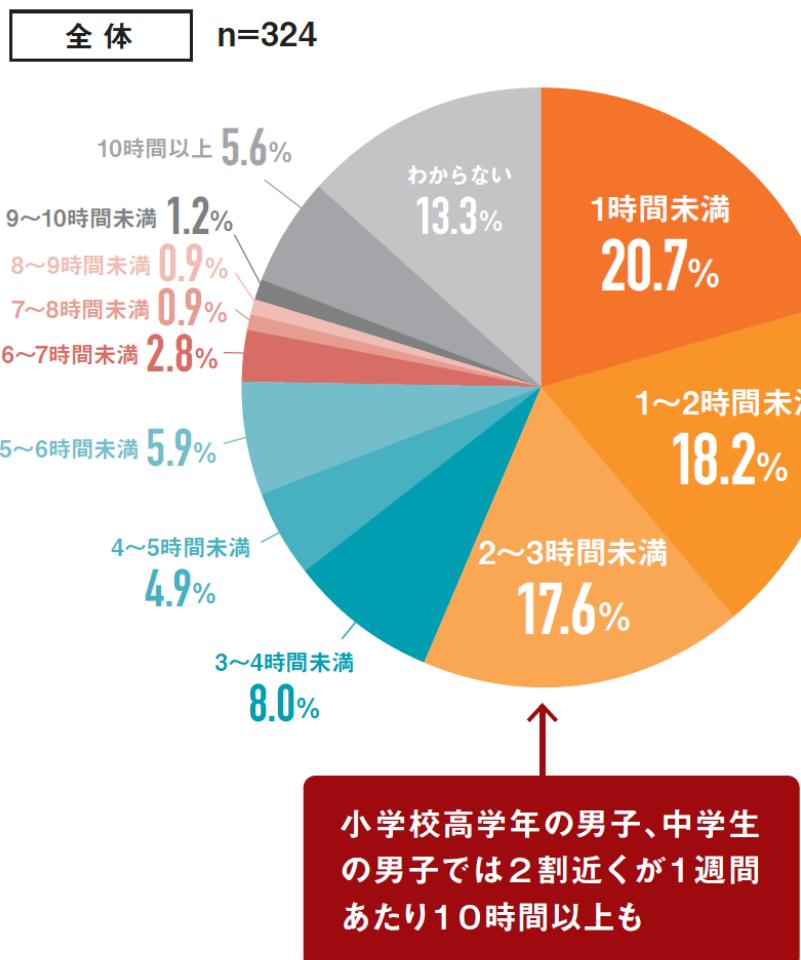
POINT! 子どもの学習意欲を高め、成績向上に繋げる。定期的なテストを実施し、学習効果を可視化、将来の目標と学習を結びつけ、学習の意義を伝える、など

年齢や習い事の種類によって、親と子の意思決定の割合が異なる

Q.8 経験・体験や習い事にかける時間は、「1週間あたり」平均どれくらいですか。

POINT

- 年収が高い家庭ほど、その時間が長くなる傾向があり、また、子供の学年が上がるにつれて、習い事や経験にかける時間も増加する傾向が見られた。加えて、「男子」の方が「女子」と比べて長い傾向があった。運動系の習い事に多く参加する傾向があり、これらの活動は長時間に及ぶことが多いことと、集中力やエネルギーの消費のためが要因と考えられる



平均 2時間41分

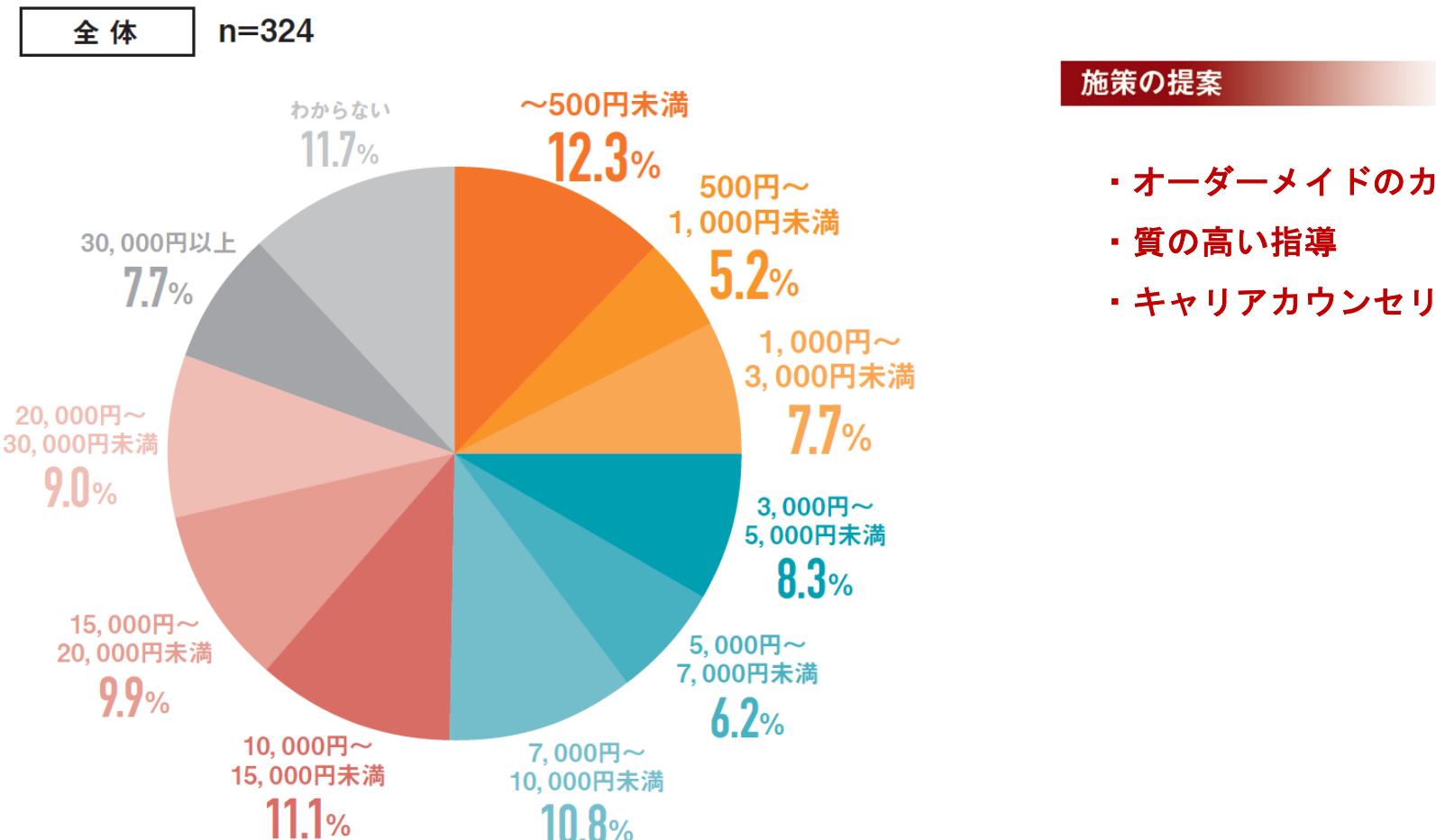
年収別

1000万円以上	… 4時間19分
750万～1000万円未満	… 2時間44分
500万～750万円未満	… 2時間17分
400万～500万円未満	… 2時間09分

Q.9 経験・体験や習い事にかける費用の総額は、「1か月あたり」平均いくらくらいですか。

POINT

- 年収と経験・体験、習い事への支出額には強い相関関係があることがわかる。パーソナライズされたサービスや、キャリアへの不安を解消できるようなサービスが期待される。



Q. 10 お子さまの習い事や体験などについて、あるとうれしい習い事や体験コンテンツなどがあれば教えてください。（FA）

STEAM* 教育についての習い事が増えるとうれしい。
(30代・未就学児(0~3歳)男子)

ダンスや体操に私が興味を持っているので親子で参加できやすい場所があれば良いと思います。
(30代・未就学児(4~6歳)男子)

子どもの料理教室
(50代・小学校4~6年生(10~12歳)男子)

※科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術・リベラルアーツ(Art)、数学(Mathematics)の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。

金融教育やお小遣いなどについて。
(30代・未就学児(0~3歳)女子/小学校4~6年生(10~12歳)男子/中学生(13~15歳)女子)

田舎なので、出張で体操教室などあるとうれしい。
(40代・未就学児(0~3歳)男子/未就学児(4~6歳)男子)

自然を体験できるようなもの。ママ友などができるうな一緒にやれるようなコンテンツ。
(30代・未就学児(0~3歳)女子)

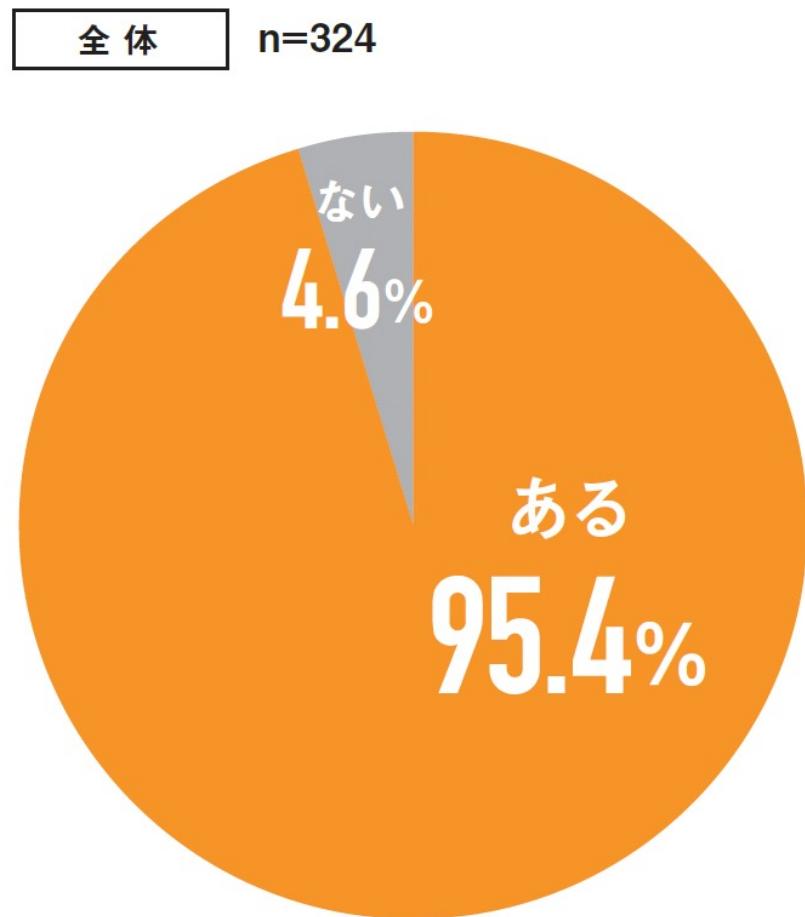
自宅近くの習い事ができる教室がわかるアプリ。させたい習い事があっても、個人教室などは口コミでないとよく分からず、結局遠くの大手教室しか調べられなかったため。
(40代・小学校1~3年生(7~9歳)女子)



Q. 11 ご自身が「大人になって学んでおけばよかった・やっておけばよかった」と思うことはありますか。

POINT

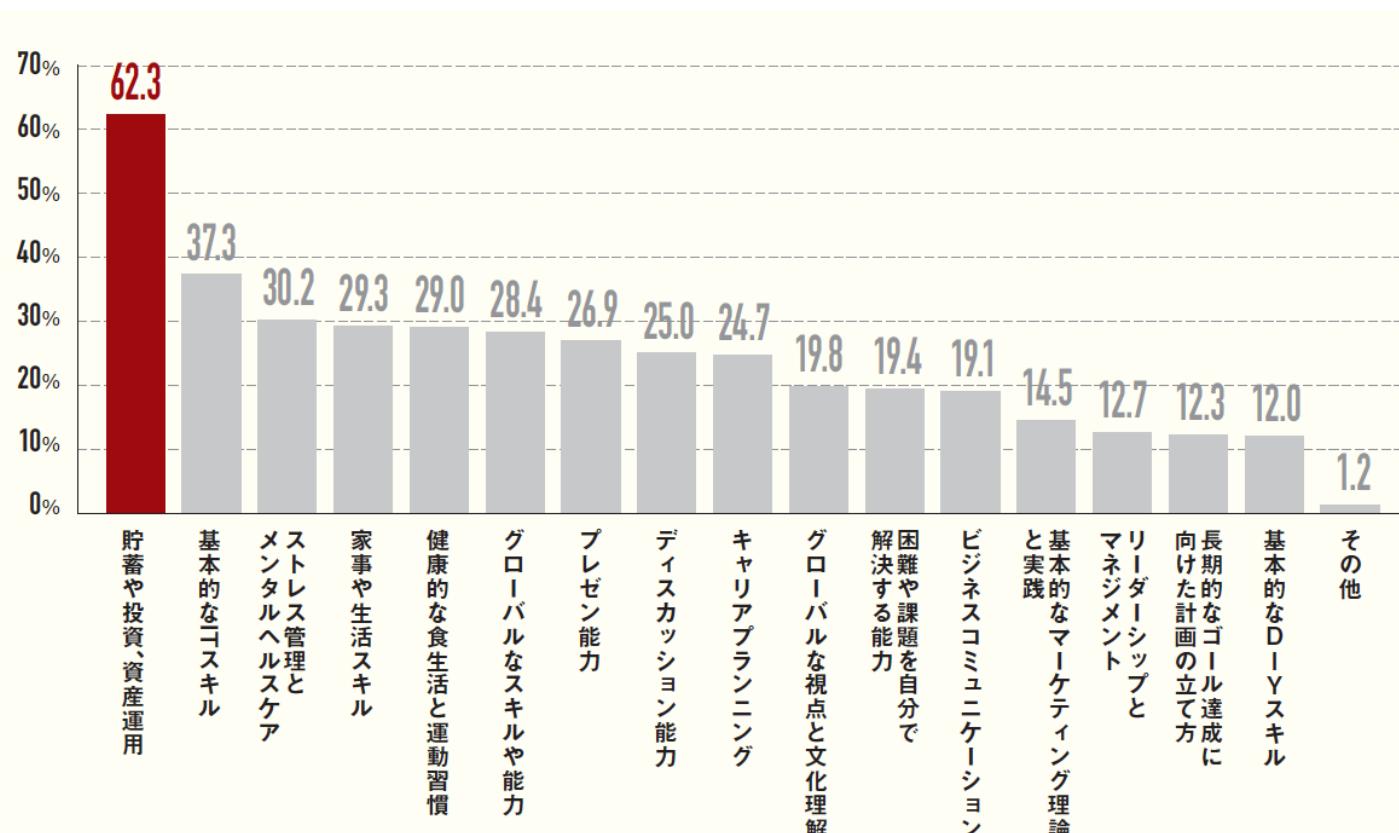
- 現代社会において、大多数が大人になってからスキルや知識不足を実感し、過去にもっと学習や経験を積んでおけばよかったと後悔している。



Q. 12 具体的に、どういったものを「大人になって学んでおけばよかった・やっておけばよかった」と思いますか。当てはまるものを全て教えてください。

POINT

- **生活に直結するスキルへの関心**：資産運用やストレス管理、健康維持といった、生活の安定 や健康に関わるスキルが非常に重要視・
- **グローバルスキルや高度なビジネススキルの後回し**：グローバルスキルやビジネスマナー、リーダーシップスキルといった高度なスキルは、比較的低い優先度にある。



施策の提案

- **親子で学べるプログラムの提案**：金融教育プログラム、親子で学べるITスキルワークショップ、親子で学ぶ康・フィットネスプログ健ラムなど、子どもを通して親も一緒に楽しめ、学べる。

Q. 13 ご自身が「大人になって学んでおけばよかった」と思った具体的な経験を教えてください。 (FA)

子どもが産まれ家を買った今、「独身のときにもっと貯めておけば良かった」、「これからかかるお金や投資のことを学んでおけばよかった」と思っている。

(30代・未就学児(0~3歳)女子/未就学児(4~6歳)女子)

一人暮らしをしていた際、家事能力が低く、外食や惣菜などに頼ることが多かった。ついにお菓子を買うことも増え、食生活が乱れ、最終的に体調を崩してしまった。

(30代・未就学児(4~6歳)女子)

パソコンは出来て当たり前の世の中、あわててパソコン教室へ通った。

(50代・小学校4~6年生(10~12歳)男子)

子供には、英語を習わせたり、留学や海外で働くことも良いと思っている。が、自分自身は、英語も話せなくて、留学経験もないのに、もっと若い時に語学の勉強をしておけばよかったなと思う。

(40代・小学校4~6年生(10~12歳)男子)

やはり出産・育児などのブランクがあっても使える資格を取得しておくべきだった。

(40代・中学生(13~15歳)女子/中学生(13~15歳)男子)

私が子どもの頃は、プレゼンやディスカッションに関して具体的に指導を受けたりや勉強する機会は無かったように思う。しかし、社会人になるとすぐ必要とされる能力だと感じる。

(40代・小学校4~6年生(10~12歳)女子)